

安全性データシート

改定日: -

発行日: 2020年10月28日

SDS番号: 266-15

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

KPC 820

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

水ベースの金属洗浄剤。不燃性。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

皮膚の炎症, 区分 2, H315

重篤な目の損傷, 区分 1, H318

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報: H315

皮膚刺激。

H318

重篤な眼の損傷。

<b>使用上の注意:</b>	P264	使用后、顔、手、接触した皮膚を充分洗浄してください。
	P280	保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P305/351/338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P337/313	眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	P302/352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
	P332/313	皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	P362/364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用す場合には洗濯をすること。

**補足情報:** なし

### 2.3. その他の危険性

既知の影響なし

## セクション 3: 組成、成分情報

### 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号
ウンデカ-1-ノール、エトキシレート	1-5	34398-01-1
炭酸、ナトリウム塩(重炭酸ナトリウムの副産物)	1-5	533-96-0
D-グルコピラノース、オリゴマー、デシルオクチルグリコシド	1-3	68515-73-1
エタノールアミン (異名: 2-アミノエタノール)	1-2	141-43-5
ナトリウム=オクチル=スルファート	0.9-2	142-31-4

その他の成分<sup>1</sup>:

ポリエチレングリコール	1-5	25322-68-3
-------------	-----	------------

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

\*職場での暴露限界のある物質。 \*\*欧州CLPによらない分類。

<sup>1</sup>分類基準: 労働安全衛生法, 毒物および劇物取締法, GHS

## セクション 4: 応急処置

### 4.1. 応急処置情報

**吸入:** 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。

**皮膚への付着:** 石鹼水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

**目に入った場合:** 大量の水で目を最低30分間洗い流してください。直ちに医師の診断を受けてください。

**呑み込んだ場合:** 意識がある場合は、コップ2杯の水で胃の内容物を希釈し、吐かせてください。直ちに医師の診断を受けてください。

**応急手当を行う人の保護:** 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当てを施している間は製品に触らないでください。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

### 4.2. 最も重要な徴候と影響(急性および遅延)

重篤な眼の損傷。皮膚刺激。

### 4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

**セクション 5: 火災時の処置****5.1. 消火剤**

適切な消火剤: 不燃性。

不適切消火剤: なし

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

なし

**5.3. 消防の際のアドバイス**

なし

**セクション 6: 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**6.2. 環境に対する注意**

条件は特になし。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。アルカリ物質は弊害を遅発することがあります。接触した場合は直ちに洗浄してください。汚染した衣服は再使用前に洗濯してください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

凍らせないでください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

**セクション 8: 暴露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
ウンデカ-1-ノール、エトキシレート	N/A	N/A	N/A	N/A
炭酸、ナトリウム塩	N/A	N/A	N/A	N/A
D-グルコピラノース、オリゴマー、デシルオクチルグリコシド	N/A	N/A	N/A	N/A
エタノールアミン	3	7.5	3	N/A
			STEL(短時間暴露限度)	
			):	
			6	
ナトリウム=オクチル=スルファート	N/A	N/A	N/A	N/A
ポリエチレングリコール**	N/A	N/A	N/A	N/A

\*欧州連合職業上の被曝限界値: 1 ppm, 2.5 mg/m<sup>3</sup>, TWA(時間加重平均); 3 ppm, 7.6 mg/m<sup>3</sup>, STEL(短時間暴露限度)。\*\*米国工業衛生協会(AIHA)の推薦限界: 10 mg/m<sup>3</sup>, TWA(時間加重平均), エアゾール。

**生物学的限界値**

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

**8.2. 曝露制限****8.2.1. 設備対策**

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

**8.2.2. 作業員の保護対策**

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機 / 酸 / 塩基呼吸マスクを使用してください。

**手袋:** 防水手袋(例: ゴム、ラテックス、プラスチック)

**目 / 顔の保護:** 安全ゴーグル。

**その他:** なし

**8.2.3. 環境暴露措置**

セクション6と12を参照。

**セクション 9: 物理的及び化学的性質****9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	液体	臭気	柑橘臭
色	緑	においの閾値	未定
初留点	100° C	20° Cでの蒸気圧	未定
融点	未定	重量比芳香物含有率 (%)	0%
揮発率%(容量比)	84%	pH	10.0
引火点	なし	相対密度	1.06 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	> 1
粘度	< 5 cps @25° C	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	適応せず	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	未定	水溶性	完全水溶性
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	適応せず	酸化性	未定
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	適応せず

**9.2. その他の情報**

なし

**セクション 10: 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

**10.2. 化学的安定性**

安定

**10.3. 危険な反応の可能性**

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

**10.4. 避けるべき条件**

高温

**10.5. 配合禁忌薬品**

強酸 / 強塩基、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

## 10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、酸化硫黄、その他の有毒煙。

## セクション 11: 有害性情報

## 11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路: 吸引、皮膚や目への付着。

## 急性毒性 -

経口: ATE-混合物 = 24,807 mg/kg.

物質	テスト	結果
ウンデカ-1-ノール、エトキシレート	致死量50(LD50), ラット	> 1,403 mg/kg, 推定
炭酸、ナトリウム塩	致死量50(LD50), ラット	> 4,000 mg/kg
D- グルコピラノース、オリゴマー、デシルオクチ ルグリコシド	致死量50(LD50), ラット	> 5,000 mg/kg
エタノールアミン	致死量50(LD50), ラット	1,089 mg/kg
ナトリウム=オクチル=スルファート	致死量50(LD50), ラット	3,200 mg/kg
ポリエチレングリコール	致死量50(LD50), ラット	32,500 mg/kg

経皮: ATE-混合物 = 68,322 mg/kg.

物質	テスト	結果
エタノールアミン	致死量50(LD50), うさぎ	1,018-2,504 mg/kg
D- グルコピラノース、オリゴマー、デシルオクチ ルグリコシド	致死量50(LD50), ラット	> 5,000 mg/kg
ポリエチレングリコール	致死量50(LD50), うさぎ	> 20,000 mg/kg

吸入: ATE-混合物 > 99 mg/l (蒸気).

物質	テスト	結果
炭酸、ナトリウム塩	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	> 5.03 mg/l (粉塵)
D- グルコピラノース、オリゴマー、デシルオクチ ルグリコシド	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	> 20 mg/l (蒸気) > 5 mg/l (ミスト)
エタノールアミン	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	> 1.48 mg/l (蒸気) 死亡例なし

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性/ 重篤な眼の損傷。

眼刺激性:

**呼吸器または皮膚の感作:** 周知の重大な影響はありません。炭酸、ナトリウム塩: 過敏性なし。

物質	テスト	結果
エタノールアミン	皮膚の感作, モルモット	過敏性なし
D-グルコピラノース、オリゴマー、デシルオクチルグリコシド	皮膚の感作, モルモット	過敏性なし
ポリエチレングリコール	皮膚の感作, 人	過敏性なし

**胚細胞突然変異原性:** 炭酸、ナトリウム塩、エタノールアミン、ポリエチレングリコール:  
入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。D-グルコピラノース、オリゴマー、デシルオクチルグリコシド: インビトロ試験, 類似物質: 陰性。

**がん原性:** 本製品は、国際がん研究機関 (IARC) あるいは欧州化学機関 (ECHA) の規定する発がん性物質を含有していません。

**生殖毒性:** エタノールアミン、ポリエチレングリコール: 動物実験では生殖障害はありませんでした。

**STOT - 単回暴露:** 有害を起さないとされています。

**STOT - 反復暴露:** エタノールアミン: 動物実験では肝臓や腎臓障害を発症しました。

**吸引性呼吸器有害性:** 吸引毒物に分類されていません。

**その他の情報:** 既知の影響なし

## セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

### 12.1. 毒性

激しい毒性はないとされています。水生生物に対して慢性毒性を示すとは思われません。

### 12.2. 持続性・分解性

ウンデカ-1-ノール、エトキシレート、D-グルコピラノース、オリゴマー、デシルオクチルグリコシド: 直ちに生分解可能。ポリエチレングリコール: 直ちに生分解可能とされています。土壌と水において、エタノールアミンは順応した後かなり急速に生分解します (数日から数週間で半減)。炭酸、ナトリウム塩: 無機物質。

### 12.3. 生物蓄積の可能性

D-グルコピラノース、オリゴマー、デシルオクチルグリコシド、ポリエチレングリコール:  
水生生物内の生物濃縮度は低いと考えられています。エタノールアミン: 生体内蓄積の可能性低 (BCF < 100)。炭酸、ナトリウム塩:  
生体内蓄積は有りません。

### 12.4. 土壌中の移動性

液体。

非水溶性。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください (セクション9参照)。エタノールアミンは土壌内で極めて移動性があり、水中で懸濁された固体や沈殿物に吸収することはほとんどありません。

### 12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

## セクション 13: 廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄処理方法

吸収物を正式に認可された設備で焼却、埋立て処理してください。水処理に適しているかもしれませんが。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

## セクション 14: 輸送上の注意

### 14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

**14.2. UN固有輸送名**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

**14.3. 輸送危険性分類**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

**14.4. 梱包グループ**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

**14.5. 環境への危険性**

適応せず

**14.6. ユーザーへの特別な注意**

適応せず

**14.7. Marpol 73/78附則IIによる貨物輸送およびIBCコード**

適応せず

**14.8. その他の情報**

適応せず

**セクション 15: 適用法令****15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR

クラスI薬品:

クラスII薬品:

エタノールアミン (2-アミノエタノール)

**その他の国内規制:** 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

優先評価化学物質: ウンデカ-1-ノール、エトキシレート、エタノールアミン、ナトリウム=オクチル=スルファート

**セクション 16: その他の情報**

**略語一覧:** ACGIH: 米国産業衛生専門家会議  
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE: 急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 GHS: 世界調和システム  
 ICAO: 国際民間航空機関  
 IMDG: 国際海上危険物規定  
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL: 最小作用量  
 NOEC: 最大無作用濃度  
 NOEL: 最大無作用量  
 N/A: 該当せず  
 PEL: 許容暴露限度  
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS: 安全性データシート  
 STEL: 短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TLV: 暴露限界  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)  
 化学分類および情報データベース (CCID)

## GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
皮膚刺激性 2, H315	算出方法
眼に対する重篤な損傷性 1, H318	算出方法

その他の情報: なし

本改訂によるSDSの変更: 新言語。

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。  
使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。